



編集雑記

既刊案内

(特集・主要記事)

[1月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.38]北里大学医療衛生学部 健康科学科 環境衛生学教室 大学院医療系研究科教授 清和成氏を訪ねて 環境DNA、環境RNAを活用し「衛生動物リスク」を評価…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎フロン排出抑制法の平成30年度の施行状況の調査結果を公表します…環境省 ◎「安心R住宅」の実施状況を公表します…国土交通省 ◎公共交通機関におけるバリアフリー化が着実に進捗!…国土交通省 ◎主要都市の地価は97%の地区で上昇基調~令和元年第3四半期の地価LOOKレポートの結果…国土交通省 ◎令和2年度技術検定のスケジュールを公表しました!…国土交通省 ◎令和元年「高齢者の雇用状況」集計結果…厚生労働省 ◎グリスロを活用した高齢者送迎事業が町田市鶴川団地で始まり…国土交通省 ◎「大企業・親事業者の働き方改革に伴う下請等中小事業者への「しわ寄せ」防止のための総合対策」を策定…厚生労働省 ◎「災害時における電動車の活用促進に向けたアクションプラン案」…経済産業省 ◎「気候変動適応計画の平成30年度施策フォローアップ報告書」…環境省 ◎様々な地域課題解決に向け企業不動産の利活用を促進!…国土交通省 ◎「明日への道標」精力善用 自他共栄~加納治五郎 幻の東京オリンピック…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎第5回沖繩水勉強会 浦添市で開催され盛況…月刊コア編集部 ◎「東京ブラリルポ」栗林公園と小豆島を訪ねて…(一社)スマート水道推進協会会長 (株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎特別連載 平成を偲ぶ パロディ狂歌集(9)一平成一人百首…弁護士 野平大魚 ◎「見てきたような話⑯」乙女の作るワイン(2)…低空飛行機 ◎新・撮った写真が5万枚!? カラオケ18番 昭和歌謡大全集…IDE研究所 いでこうじ ◎「数遊びその9」おもしろ脳トレ講座…加藤千賀 ◎建築着工統計(2019年10月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス◎ エッセイ 西村修一、新田純子

[2月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.39]京都大学大学院地球環境学堂 地球親和技術学廊 環境調和型産業論分野 准教授 田中周平氏を訪ねて~マイクロプラスチック問題で世界をリードする…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎国土交通省直轄工事における技術提案・交渉方式の運用ガイドラインを改正しました…国土交通省 ◎賃貸住宅管理業務に関するアンケート調査結果の公表…国土交通省 ◎第201回国会(常会) 提出予定法案について…国土交通省 ◎建設業の人材確保・育成に向けた取組を進めていきます…国土交通省・厚生労働省の令和2年度予算案の概要…国土交通省 ◎環境経済観測調査(環境短観) 令和元年12月調査速報値の公表…環境省 ◎平成30年度における下請取引の適正化に向けた取組等について…中小企業庁 ◎製造業における外国人従業員向け相談窓口を設置しました…経済産業省 ◎あなたの想い、民間事業者に届いていますか?~「円滑な官民対話」のポイント」を公表…国土交通省 ◎「明日への道標」どこかへたどり着きたいなら~ウォール街の支配者 モルガン…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「東京ブラリルポ」北千住、荒川の土手を歩く…(一社)スマート水道推進協会会長 (株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別レポート」鋼管ルネッサンス・配管セミナー誌上公開講座(1)…IDE研究所 いでこうじ ◎LIXILと田辺市教育委員会(和歌山県)が共同開催 大坊小学校におけるトイレの防災授業とジュニア・ボランティア育成活動が「グッドトイレ選奨」…(株)LIXIL ◎「特別連載」平成を偲ぶ パロディ狂歌集(10)一平成一人百首…弁護士 野平大魚 ◎「見てきたような話⑰」初夜権…低空飛行機 ◎「数遊びその10」おもしろ脳トレ講座…加藤千賀 ◎建築着工統計(2019年11月)…国土交通省◎ 新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

直木賞を受賞して話題になった川越宗一の歴史小説『熱源』はふたりの実在した人物を主人公にしている。ひとり樺太(サハリン)で生まれたアイヌ人ヤヨマネクフ、もうひとりサハリンに流刑されたリトアニア生まれのポーランド人政治犯プロニスワフ。彼らは19世紀末から明治政府と帝政ロシアの同化政策に虐げられながらも誇り高く生きようとする少数民族を象徴している。

わたしは高校生の頃、言語学者の金田一京助の著作を通じてアイヌの存在を意識した。金田一は文字を必要としないアイヌが口伝で受け継いできた口承文学を発掘する。ヤヨマネクフの口述を筆記した『あいぬ物語』、叙事詩ユーカラ、アイヌの少女・知里幸恵による神謡などを知り、わたしは日本が単一民族国家ではないことを理解した。

アイヌは東北地方から北海道、樺太、千島列島における先住民族でシシャモ、トナカイ、ラッコなども本来はアイヌ語だ。しかし明治以来の国定教科書では土人と侮蔑的に表記されてきた。昨年4月にアイヌ新法が成立し、ようやく先住民族と明文化された。そのシンボルとして北海道白老町に民族共生象徴空間=愛称ウポポイが建設され、4月24日にオープンする予定だ。

おおぜいで歌うという語意のウポポイは民族共生公園やアイヌ民族博物館などで構成される。アイヌは自然界に生きるものをカムイ(神霊)の化身と見做し、森羅万象すべて分け隔てなく畏敬と感謝の対象としてきた。人間を意味するアイヌは人間の素朴な原点へ人々を導いている。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第364号

令和2年3月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884